

# 議会だより

No.87

令和4年9月  
2022.9

## のせ

4月会議、5月会議報告	・・・	P3
6月定例会報告	・・・	P5
一般質問	・・・	P6

# 予算常任委員会報告

4月26日 開催

委員長 平田 要

予算常任委員会に付託された「令和4年度能勢町一般会計補正予算(第1号)」について、委員会を開催し予算内容を審議しました。

「令和4年度能勢町一般会計補正予算(第1号)」は討論はなく、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

主な質疑応答は、次のとおりです。

**問** 保育所におけるICT化整備事業について問う。

**答** 現在、保護者が登所時間、退所時間を記入しているが、カードリーダーで把握することで保護者の利便性の強化を図る。  
また、紙の連絡帳での保護者とのやり取りについてもICT化により双方向性を持たせることを考えている。

**問** 商品券の発行について、予定されている内容、利用期間などについて問う。

**答** 昨年度に引き続き、いきいき商品券として3,000円の商品券の配布を予定している。7月中旬から年内12月31日の期間を予定している。  
※5月31日開催の本会議での「令和4年度能勢町一般会計補正予算(第2号)」により10,000円の商品券と使用開始を8月1日から変更されています。

**問** 高齢者のインフルエンザ予防接種の無償化とあるが、子どもの接種の無償化については検討されたのか問う。

**答** 今回は基本的に新型コロナ対策の一環として、重症化しやすい高齢者を無償化することによって接種を進め、安心・安全な日々を送っていただきたい観点から、取り組むものである。

**問** 学校の給食費無償化事業で、臨時創生交付金を活用して引き続いて無償化をするとあるが、これからも継続的に負担軽減していくことについて、考えを問う。

**答** 学校給食補助金の無償化は令和2年度から今回3年連続になる。いずれも単年度ごとの時限措置ということで実施してきたものである。意見として令和5年度以降の予算編成に向けての参考とさせていただきたい。

## 令和4年能勢町議会4月会議報告

4月25日・27日開催

4月会議には、報告2件、補正予算1件が提出され、全員賛成により可決されました。  
すべての提出案件については、能勢町ホームページ「能勢町議会」からご覧いただけます。

### ◇令和4年度能勢町一般会計補正予算(第1号)

補正額 9,723万円

(主なもの)

・庁舎西館及び保健福祉センターのテレワークの環境整備	3,210万円
・新型コロナウイルス感染症の自宅療養者緊急支援	50万円
・保育所環境ICT化事業	400万円
・高齢者のインフルエンザ予防接種無償化	467万円
・おおさかのてっぺんフェスティバル感染対策	50万円
・新型コロナウイルス感染症対策 商品券交付金	2,850万円
・新型コロナウイルス感染症対策 学校給食費無償化事業	1,930万円
・新型コロナウイルス感染症対策 学校施設の消毒	392万円
・学校給食の無償化に伴う就学援助費の減額	△483万円

## 令和4年能勢町議会5月会議報告

5月31日開催

5月会議には、補正予算1件、が提出されました。全員賛成により可決されました。  
すべての提出案件については、能勢町ホームページ「能勢町議会」からご覧いただけます。

### ◇令和4年度能勢町一般会計補正予算(第2号)

補正額 6,885万円

(主なもの)

・新型コロナウイルス感染症対策 商品券交付金	6,580万円
------------------------	---------

#### 【お詫び】

議会だより No.86 号におきまして、反対討論に一部本会議での発言にない内容が含まれていました。

町民のみなさま、関係各位に広報特別委員会として深くお詫び申し上げます。

今後、細心の注意をし、見やすい紙面づくりに努めてまいります。

# 予算常任委員会報告

6月20日 開催

委員長 平田 要

予算常任委員会に付託された「令和4年度能勢町一般会計補正予算(第3号)」について、委員会を開催し予算内容を審議しました。

「令和4年度能勢町一般会計補正予算(第3号)」は討論はなく、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

主な質疑応答は、次のとおりです。

**問** ふれあいプラザの整備工事の進捗状況と保育所送迎機所へのニーズ調査の状況、また予定どおり開設することで進めているのかを問う。

**答** 5月末で65%の出来高となっている。保育所送迎機所の利用見込みについては全体として少ない状況である。また、施設等の内装等の整備はするが、庁用品等の予算は含まれていない。

**問** 浄るりシアターの稼働率と施設整備工事の内容による効果について問う。また、施設のLED化の状況を問う。

**答** 令和3年度の稼働率は44.9%、コロナ前の平成30年度は68.8%となっている。今回の整備工事により舞台上照明が全てLEDとなり舞台の演出面が向上する。今回の改修で舞台上は100%、ホール内は50%、小ホール・研修室等を含めた全体では30%となる。

**問** 東部デイサービスセンター移転に係る庁用器具費及び機械器具購入費の備品購入について問う。

**答** 東部デイサービスセンターの移転に伴って厨房の機器を更新する。また、休養室の電動ベッド2台を設置する。機械器具については特殊浴槽の購入をするものである。

続いて、予算常任委員会に付託された「令和4年度能勢町国民健康保険診療所特別会計予算補正予算(第1号)」の内容を審議し、質疑の後、討論はなく、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。(採決の結果は本会議ページ参照)

# 令和4年能勢町議会6月定例会議報告

6月17日・21日開催

6月定例会議には、条例2件、補正予算6件、その他1件が提出され、全員賛成で可決されました。  
すべての提出案件については、能勢町ホームページ「能勢町議会」からご覧いただけます。

◇職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例について

◇能勢町いじめ重大事態調査委員会等の設置に関する条例の制定について

◇令和4年度能勢町一般会計補正予算(第3号)

補正額 20,377万円

(主なもの)

・ふれあいプラザ整備事業	4,978万円
・新型コロナウイルスワクチン接種事業	2,576万円
・子育て世帯生活支援特別給付金	925万円
・浄るりシアター施設整備事業	4,900万円
・消防団員退職報償金	556万円
・コミュニティ助成事業補助金	1,410万円

◇令和4年度能勢町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

補正額 404万円 (人事異動に伴う人件費補正、国民健康保険診療所特別会計への繰り出し)

◇令和4年度能勢町介護保険特別会計補正予算(第1号)

補正額 337万円 (人事異動に伴う人件費補正)

◇令和4年度能勢町国民健康保険診療所特別会計補正予算(第1号)

補正額 1,785万円

(主なもの)

・ふれあいプラザ 国民健康保険診療所整備事業	1,571万円
------------------------	---------

◇令和4年度能勢町下水道事業特別会計補正予算(第1号)

補正額 197万円 (人事異動に伴う人件費補正)

◇令和4年度能勢町一般会計補正予算(第4号)

補正額 8千円 (賠償金)

# 一 般 質 問



町民のみなさんの生活を、より良いものにするため、町に対して質問を行いました。主な内容をお知らせいたします。

- P6 …… 太田 祐介
- P7 …… 平田 要、中西 顕治
- P8 …… 奥 久明、井上加奈子
- P9 …… 岡本ひとし、難波希美子

## 一 般 質 問



太田 祐介

能勢町の地域振興について、ソフトとハードをいかに有効活用していくか

地域おこし協力隊

えや意向を尊重しつつ、能性を問う。

**問** 2名の地域おこし協力隊が能勢町に着任して約1年。それぞれの隊員の活動内容を問う。

**答** 今後の施設の利活用を制限しないようであれば、部分使用についても検討に値するものであると認識している。

**答** 1名は里山資源の次世代継承や担い手養成を目的とする塾の企画・運営や地域資源の未利用資源を活用した特産品の研究を取り組んでいる。

**問** 境界確定や、除却の計画をたてる順位付けを問う。

もう1名は、公共施設における節電・省エネ対策の提案に加え、環境学習イベントの企画等に取り組んでいる。

**答** 過去に企業から引き合いの多かったところから順に予算の範囲で取り組んでいく。

**問** 任期満了後も能勢町に留まっていたかどうかについては準備が必要。町の考えを問う。

**答** 現在のところ、企業研修型地域おこし協力隊の活用は考えていない。制度活用の要件として、地域の資源、課題を解決するような取組みにつながるものであればという認識である。

**問** 敷地の部分使用の可否を問う。

**答** 学校の跡地活用

できる限り隊員の考

問 敷地の部分使用の可





平田 要

### 一、第3次ごみ減量計画から 二、前立腺がん早期発見のために ごみ減量の取組み

ごみ減量の取組みについて

したいと考えている。

次ごみ減量計画期間中に再検討する。

資源紙類等の集団回収

資源紙類等を公共施設等で受け入れられる拠点回収について問う。

前立腺がん早期発見のため

令和3年度実績で回収量181トン（29団体）である。課題として人口減少や高齢化による担い手不足が挙げられる。

ごみ減量を目標として取り組んでいる。全体的なところから検討していきたい。

北摂自治体で実施していないのは能勢町・豊能町となっている。

集団回収の効果を問う。

集団回収の資源ごみ回収量と町の資源ごみ回収量では集団回収での量の方が多くなっている。効果的に取り組んでいただいている。

生活実態・環境に合った少量ごみ処理券に交換（現行の2倍）できる制度について問う。

集団回収の登録団体を増やすための働きかけについて問う。

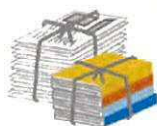
45ℓのごみ袋を持ち歩きするのは少し重たいとの意見を聞いている。高齢化等により、ごみ排出への負担が増えてきているなども踏まえ、第3

国において対策型検診として推奨されないとされていることから、現時点では国の指針に基づき検査を実施していく。（PSA：前立腺の細胞から分泌されるたんぱく質）

取組みには、活動的に難しい団体に対して支援できることも含め検討

出への負担が増えてきているなども踏まえ、第3

分分泌されるたんぱく質）



国において対策型検診として推奨されないとされていることから、現時点では国の指針に基づき検査を実施していく。（PSA：前立腺の細胞から分泌されるたんぱく質）

## 一般質問



中西 顕治

### 農業経営支援の課題

コロナ感染症の世界的な蔓延、ロシア、ウクライナでの戦争から世界各国の食糧状況が変化し、食料高騰、農業生産資材の不足、高騰が報じられている。

等を交付することで営農継続支援を引き続き行うことと、耕作放棄地の受皿として公的な担い手である農業公社等の設立が必要であると考える。

公社の形態も多様で、農作業の受委託を行うところもある。

本町において持続的な営農を支えるための方策を問う。

本年度の町政運営方針で、里山未来都市として暮らしに必要な資源を地域で自給し、里山本来の資源が持続的に循環利用できるまちをつくることを掲げた。そのためには農地を主体とする農空間を保全しなければならぬ。担い手となる農家や集落営農組織に補助金

担い手の育成面でも年齢にかかわらず、工夫して耕作経営をしていくということが一番大事だと考える。

本年度の町政運営方針で、里山未来都市として暮らしに必要な資源を地域で自給し、里山本来の資源が持続的に循環利用できるまちをつくることを掲げた。そのためには農地を主体とする農空間を保全しなければならぬ。担い手となる農家や集落営農組織に補助金

担い手が確保できない要因をどう認識するか。

本町での平均水田面積（50a）では資産償却も含めれば赤字になる。従来のように使命感で維持できる状況にない。

営農継続ができない、担い手が確保できない要因をどう認識するか。

本町での平均水田面積（50a）では資産償却も含めれば赤字になる。従来のように使命感で維持できる状況にない。

農産物の販売については観光物産センターの機能を活用する方向で考えている。この農空間、農地を守るということは共通の課題だと考えているので、意見を集約して計画していく。



農産物の販売については観光物産センターの機能を活用する方向で考えている。この農空間、農地を守るということは共通の課題だと考えているので、意見を集約して計画していく。





奥 久明

## 人口増加に向けて

**問** 移住・定住施策について本町に何年か定住すれば無償の住居を提供する様な施策はできないか。

**答** 定住には様々な支援が考えられるが費用対効果、ニーズを踏まえ現在、施策を構築している。

**問** 婚姻成立時にお祝い金の提供は可能か。

**答** 他の様々な施策も踏まえ検討していく。

**問** サテライトオフィス的な形で本町に企業が来てもらうようアプローチをかけるはどうか。

**答** 移住支援と現在住者の幸福度のバランスも考え研究していく。

**問** 交流人口を増やすためコワーキングスペース

**答** 試験的に1年実施するが必要以上に費用が拡大せず、現在路線バスが走っていない所を中心に手立てし導入を検討した。

**問** 安心して移住定住をするためには、今の住民も納得する安定した交通網が必要と考える。今後

**答** 継続的な運行ができるシステムを構築していくことが必要と考える。

**問** 乗合タクシーは東地域がないが、どのような理由か。

**答** 試行的に1年実施するが必要以上に費用が拡大せず、現在路線バスが走っていない所を中心に手立てし導入を検討した。

**問** 東地域の地域交通も含み全的に住民が困らない交通システムの構築が必要と考えるが。

**答** たくさんの要望を頂き全部の要望を満たすことは現実的でない。乗合タクシーの他に空白地有償運送・タクシー・バス等、総動員して解決に導いて行こうと考えている。

**問** SNSではショートムービーが流行っているがユーチューブでこれを使い本町をアピールしてはどうか。

**答** ご意見として承る。



## 一般質問



井上 加奈子

## 誰ひとり取り残さない 社会をめざして

**問** 子どもがつくる明るい未来のために

**答** 教員不足の状況を問う。

**問** 5月1日現在、欠員はないが、その後療養休暇の教職員が出ており、補充に向けて鋭意取り組み中である。

**問** 講師募集の目的を問う。

**答** 欠員補充ではなく、教科担任制を強化するため、町単費で採用、任用するという目的で募集をし、4月から1名を任用した。

**問** 教員負担軽減のための業務ICT化について問う。

**答** 文部科学省の先進事例集などを学校に周知し、指導している。教職員

**答** 教員負担軽減のため業務ICT化について問う。

**問** 貧困の連鎖を断ち切るために教育ができる事は何か。

**答** 学校、教育ができることは、子どもにしっかりとした学力、体力をつけ、豊かな心を育むこと。

**問** 災害時避難計画について

**答** 災害時の避難支援が必要な独居高齢者が現在130名以上と増加傾向にある。区長・民生児童委員・消防団に資料を提供し、近隣の助け合い活動による支援をお願いしている。

**問** 助け合いの仕組みづくりの状況を問う。

**答** 自主防災組織として現在14の自治区が取り組んでおり、引き続き啓発に努める。

**問** 家相談し、課題を明らかにしてアプローチを考える支援教育の充実を図っている。

**答** 家相談し、課題を明らかにしてアプローチを考える支援教育の充実を図っている。







岡本 ひとし

## 一、包括連携協定の考え 二、人権侵害のない社会づくり

### 包括連携の基本認識に ついて

と連携し、「地域エネルギー会社、株式会社能勢・ギー会社、株式会社能勢・インターネットによる人権侵害について

**問** 地域における公共的課題の解決を進めていく

協働型社会の実現を視野に取り入れていくことが肝要だと考えるが、本町の基本認識を問う。

**答** 自治体や企業、NPOなど町内外の様々な主体がつながり、連携、協働することは、本町の課題解決や新しい価値の創造に大きく寄与するもの

と考える。

**問** 包括連携協定を締結している企業や事業者を問う。

**答** 平成27年大阪大学、令和2年豊能町と地域循環型まちづくり推進機構

と連携し、「地域エネルギー会社、株式会社能勢・ギー会社、株式会社能勢・インターネットによる人権侵害について

**問** 本町における人権侵害の事例を問う。

**答** 人権の世紀と言われるが、先般、ネット・ユーザーにおいて、本町チューブにおいて、本町に関する人権侵害をする悪質な差別情報が流布された。直ちに大阪府を通じて国へ報告し、サイト管理者へ削除要請した。

### 一、包括連携協定の考え

### 二、人権侵害のない社会づくり

と連携し、「地域エネルギー会社、株式会社能勢・ギー会社、株式会社能勢・インターネットによる人権侵害について

**問** 本町における人権侵害の事例を問う。

**答** 人権の世紀と言われるが、先般、ネット・ユーザーにおいて、本町チューブにおいて、本町に関する人権侵害をする悪質な差別情報が流布された。直ちに大阪府を通じて国へ報告し、サイト管理者へ削除要請した。

**問** 6月に協定を結んだ株式会社ヤママップとの協定内容を問う。

**答** ヤママップにシステム登録しておけば、携帯等が通じなくても、位置情報等が地図情報として入手できることで、二次被害を防げるメリットがある。

**問** 人権侵害を防止するための施策の取組みを問う。

**答** 人権学習等を通じ、正しい知識や理解の啓発に努めている。



## 一般質問



難波 希美子

## 一、地域防災計画 二、環境配慮型の給食 三、ゼロカーボントアウン

### 地域防災計画

**問** 地域防災計画は毎年更新しているのか。

**答** 必要があればその都度変更している。

**問** 災害時にドローンの活用をしようか。

**答** 有効と考え、他自治体を調査して検討する。

**問** 原発事故時の避難元の協議はしているか。

**答** ここ一、二年はしていない。協議を検討する。

**問** 破損した太陽光パネルは、危険なので住民に注意喚起をしようか。

**答** 設置者の責任で、町としては対応しない。

### 環境配慮型の給食

**問** 有機農業推進法の自治体の責務があるが、農業者の理解は十分か。

**答** エコ農産物の推奨を行い、1月・7月に申請を受け付けている。

**問** ゲノム編集食品を給食に使う事はあるか。

**答** 積極的には取り入れず、慎重に対応する。

**問** 環境配慮型農業として有機農業を挙げているが給食にエコ農産物を取り入れてはどうか。

**答** 生産を推奨し供給が安定すれば、給食も視野に入る。

**問** 環境保全型農業直接支払い交付金を推進してはどうか。

**答** 農業者の自主性を尊重する。

### ゼロカーボントアウン

**問** 資源利用、雇用創出、脱炭素に、薪ストーブが本町にいいのではないか。

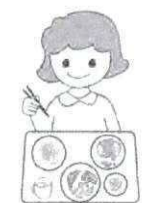
**答** 有効と考えるが補助は考えていない。

**問** 本町のエネルギー潜在能力は60%が地中熱である。又、太陽熱の利用を勧めてはどうか。

**答** 地中熱利用は難しい。太陽熱利用の奨励も認識している。

**問** 環境保全型農業直接支払い交付金を推進してはどうか。

**答** 農業者の自主性を尊重する。



# 本誌「議会だより」の表紙を飾る写真を募集しています。

テーマ：能勢町における「生物多様性」  
発行時期：5月、8月、11月、2月

能勢町が長い年月で育んできた豊かな生物多様性を、様々な形で発信したいと企画いたしました。

ご応募、ご質問は随時議会事務局までご連絡ください。

## ☆表紙の写真☆

能勢町内を流れる河川は豊かな自然に彩られて四季折々の姿を見せてくれます。

## おしらせ

9月定例会議は9月12日が開始日となります。

詳細な日程は、決定次第ホームページなどでお知らせいたします。

## 能勢町議会 YouTube チャンネル

議会の音声データを聴くことができます。  
音声の内容は公式記録ではありません。



## 編集後記

うだるような暑さが続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。

編集の都合により発行がひと月遅れましたことをお詫び申し上げます。

6月の一般質問では、7人の議員が各々のテーマで住民の皆様から寄せられたご意見や提案を、代弁者として町に届けました。

本町を少しでも住み良い町にするために、議員ひとりひとりが、皆様の声に耳を傾け、解決に向けて頑張っております。

## 広報特別委員会

委員長 太田 祐介

副委員長 難波希美子

委員 井上加奈子 岡本 ひとし 奥 久明

発行／能勢町議会 発行責任者／西河 巧 編集／広報特別委員会 発行日／令和4年9月1日  
〒563-0392 大阪府豊能郡能勢町宿野28番地  
TEL(072)734-0151 FAX(072)734-2460  
ホームページアドレス <http://www.town.nose.osaka.jp>

能勢町議会

